

きんぎょ 議会だより

VOL. 72
2012
平成24年8月1日発行



今回の表紙(めりえ)



中部幼稚園・保育園
はないはるかさん
の作品

おもな内容

町議会新体制整う 2~3

第2回臨時会 3

第2回定例会 4~5

ここが聞きたい【一般質問】 6~10

議会日誌 11

議員トピックス 12

今月から紙面を一新しました

町議会、新体制でスタート



就任のご挨拶



木曾岬町議会 議長
伊藤 好博

梅雨が明け暑さも厳しくなりました。町民の皆さま方におかれましては、ますますご健勝にてお過ごしのことと存じます。

このたび、5月17日の第2回臨時会におきまして、議長に就任させていただきましたことになり、私自身にとりまして限らない光栄と存じますとともに、その責任の重さを痛感している次第でございます。

議会は議決機関、監視機関はもとより、近年は政策

立案機能も求められており、議会の使命を十分果たせるよう取り組んでいきたいと考えます。木曾岬町の発展と住民の福祉を常に意識し、議会の円滑な運営に努め、

中立公正を最大・最終の目標として、町民の皆さまの期待と信頼に応えてまいりたいと考えております。

どうか、温かいご支援とご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。まして、就任の挨拶とさせていただきます。



木曾岬町議会 副議長
三輪 一雅

政治の世界でスローガンのに使われる言葉に、「改革」があります。私は、この「改革」という言葉があまり好きではありません。それは何かを新しく変えていく事を否定する意味ではありません。ある時代の人間が、その時代にあったことを取り入れていくのは当たり前のことであり、声高に「改革」を叫ぶ必要もないと思うからです。

悪しきものはどんどん変えていき、古き良きものは

継承していく、それを実行していきたいと思っております。

微力ではありますが、木曾岬町のため精一杯職務をつとめていく所存でありますので、町民の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。



平成24年

第2回

臨時議会

第2回臨時会は、5月17日に開会され議案2件を審議し、
いづれも原案どおり可決されました。
また、議会人事では、申し合わせ任期により議長、副議長
が改選されました。

議事内容

可決した議案

議件名(議案の内容)

■承認第2号 専決処分事項の承認を求めることについて

(木曾岬町税条例の一部を改正することについて)

地方税法および国有資産等所在市町村交付金法の一部を改正する法律
などが、平成24年3月31日にそれぞれ公布され、同年4月1日から施
行されたことによる町税条例の一部改正です。

■議案第32号 木曾岬町自主運行バスの運行及び管理に関する条例の一部
改正について

新たに、起終点(木曾岬温泉から近鉄弥富駅)までを運行する路線(源
緑見入線)を、7月1日から運行しようとする条例の一部改正です。

各議員の賛否

議案等の審議結果です。賛否の分かれた議案のみを表示しています。
他の議案は全会一致で賛成となりました。

議案番号	議案名	議員名	
議案第32号	木曾岬町自主運行バスの運行および管理に関する条例の一部改正について	○ 三輪一雅	
		× 伊藤律雄	
		— 花井 實	
		○ 伊藤民男	
		○ 伊藤好博	
		○ 伊藤 正	
		× 中村富男	
		可決	審議結果

※議長は裁決に加わらない。ただし、可否同数の場合は議長裁決。
○は賛成、×は反対、欠は欠席、退は退席を表示。

木曾岬町議会構成

◎委員長 ○副委員長



議長	伊藤好博
副議長	三輪一雅
議会運営委員会	◎中村富男 花井 實 ○伊藤民男 伊藤律雄
常任委員会	◎伊藤民男 伊藤 正 花井 實 ○中村富男 伊藤好博
教育民生 常任委員会	◎伊藤律雄 伊藤好博 三輪一雅 ○伊藤 正 伊藤民男
議会広報 常任委員会	◎花井 實 中村富男 ○三輪一雅 伊藤律雄
議会選出 監査委員	伊藤 正

※追伸：病気療養中で欠席されておりました、中川和子議員におかれ
ましては、5月14日付けで辞職をされました。



平成24年

第2回

木曾岬町議会

定例会

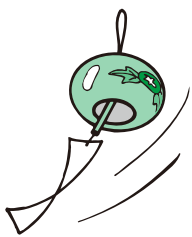
第2回木曾岬町議会定例会は、6月15日から22日までの8日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、議案6件（一般会計補正予算1件、条例改正3件、協議案件2件）、報告案件2件、諮問案件1件、合計9件の議案などについて審議されました。会期日程の内容は次のとおりです。

6月15日の開会日は議案6件と報告案件2件を上程され、議案の説明と報告案件の説明を受けました。次に諮問案件が上程され、案件の説明を受け、質疑・採決を行い原案のとおり適任者と認めるものとして答申することとされました。

20日は一般質問が行われ、4名の議員が質問に立ちました。（その内容は「ここが聞きたい一般質問」を参照）その後、議案の質疑が行われました。

22日の最終日には、初日に上程された議案6件について、討論・採決を行い、全議案原案のとおり可決し閉会しました。



議事内容

可決した議案

◎執行部提案

議案件名(議案の内容)

■議案第36号 平成24年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算(第1号)について

既決予算額に歳入歳出それぞれ24,800千円を追加し、予算総額を2,804,800千円とする補正予算です。今回の補正は、主に退職職員の補充として職員の採用を行ったことによる人件費の増額によるものです。これ以外の主な補正内容は次のとおりです。

- ・富田子地区集会所修繕補助金
- ・要援護者台帳(マップ)作成費
- ・ごみの出し方パンフレット作成費
- ・農地、水、環境保全対策事業負担金
- ・消防団員退職報償金
- ・夢とふれあい教育基金積立金

■議案第37号 木曾岬町課設置条例の一部改正について

住民基本台帳法の一部を改正する法律の公布施行にあわせて、外国人登録制度が廃止されることにより、本条例の一部改正を行うものです。

■議案第38号 木曾岬町夢とふれあい教育基金条例の一部改正について

株式会社アイ・エヌ・ジー様より教育振興に役立てて頂きたいと500,000円の寄付を受けましたので、これを基金に積立てるにあたり、本条例の一部改正を行うものです。

■議案第39号 木曾岬町監査委員条例の一部改正について

監査委員が実施する監査については、地方自治法をはじめ、地方公営企業法などの関係法令に基づいて、実施しており現行条例に規定する必要があることから、本条例の一部改正を行うものです。

■議案第40号 三重県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について

住民基本台帳法の一部改正に伴い、本規約の一部を変更することについて協議を行うものです。

議案件名(議案の内容)

■議案第41号 桑名介護認定審査会共同設置規約の一部変更に関する協議について

外国人登録法の廃止および住民基本台帳法の一部改正に伴い、本規約の一部を変更することについて協議を行うものです。

報告案件

議案件名(議案の内容)

■報告第1号 平成23年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

平成23年度予算のうち、繰越明許費として平成24年度へ繰越した予算31,307千円の繰越計算書を報告したものです。

■報告第2号 平成24年度木曾岬町土地開発公社事業計画および会計予算並びに平成23年度木曾岬町土地開発公社事業報告および会計決算報告について

地方自治法の規定により、町が出資している木曾岬町土地開発公社の事業計画、予算、決算、経営状況などを報告したものです。

人事案件

議案件名(議案の内容)

■諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について

木曾岬町人権擁護委員の任期が、平成24年9月30日付で満了となるため、引き続き、木下通子氏を候補者として推薦しようとすることから意見を求めるものです。

1111
聞きたい

一般質問

この記事は、通告順に掲載し、議員本人が作成した原稿を

議会広報常任委員会が編集したものです。

なお、掲載文は紙面の都合で要約されておりますが、

一般質問の全文は

木曾岬町議会会議録（北部公民館にて公表で
ご覧いただけます。

町政のゆくえは…

4名の議員が質問

ページ数 7 — 2番議席 伊藤律雄 議員

● 県道バイパス国道23号交差点の北進事業推進
について

● 木曾岬町複合型施設基本構想について

ページ数 8 — 3番議席 花井 實 議員

● 木曾岬千拓地の太陽光発電について

● 自主運行バスについて

ページ数 9 — 1番議席 三輪一雅 議員

● 木曾岬町の生活保護について

● 電力について

ページ数 10 — 8番議席 伊藤 正 議員

● 町政懇談会のまとめを

● 弥富市との境界を解決し税収増を

Q&A



一般質問



2番議席 **伊藤律雄** 議員

県道バイパス国道23号交差点の北進事業推進について

全力を挙げて事業の推進を図ります

町長

質問

県道木曾岬弥富停車場線バイパス国道23号線から、緑風橋の間においての土地の改修、また、道路がほぼ完成しているが、三崎地区県道バイパスの国道23号線交差点について、3名の方が土地の買収に依りていないと聞いております。行政として今までの様な対応をされたかお聞かせください。

また、木曾岬干拓地メガソーラー事業計画が進んでいる中、一日も早くバイパスの道路が完成することを願っております。

行政として、今後の対応についてどのようにされますか、それは、いつ頃かお聞かせください。

答弁

この道路は、国道23号と木曾岬干拓地を直結する幹線道路として整備することを目的とし、干拓地を起点として、国道23号と平面交差し、町内中和泉地内の現県道までの3.1km区間を全体事業区間として整備が進められているところでございます。

この事業の推進にあたり

ましては、三重県の政策部と県土整備部の競合や事業費が大きいことから、三重県と町との計画協議を行う連絡調整会議を発足し、議会の皆さまや自治会での地元説明会などで協力をお願いしてきたところです。

今もなお一部の関係者との用地交渉を進めているところでございます。

三重県と町の職員が個別に訪問させていただき、繰り返し事業の必要性を説明申し上げ理解を求めておりまして、私自身も何度かお会いし、お願いをし、議員の皆さま方にもご尽力を願っているところでございます。

県道バイパスは、メガソーラー事業地、国道23号線からの搬入ルート確保によつて、一層の事業地の促進がはかれるものと期待をしております。

関係者の方々のご同意をいただくよう今後とも全力を挙げて取り組み、事業の推進をはかって参りたいと考えているところでございます。

木曾岬町複合型施設基本構想について

計画的に進めていきます

町長

質問

平成23年10月に木曾岬町まちづくりプロジェクト審議会へ、木曾岬町複合型施設基本構想の案が諮問され、議論を重ね町長に答申をされました。行

政として、今後の対応と計画をお聞かせください。

答弁

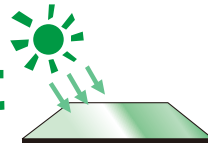
避難所を兼ねた防災拠点施設と庁舎機能に教育文化や福祉施設を併設した複合型施設の基本構



木曾岬町庁舎、福祉教育センター

想について、昨年度答申をいただきました。現在住民の皆さんに閲覧を願います。基本計画の次に、基本設計・実施設計と手順を踏ませていただく予定として、おりまして、はつきりとした建築年度は申し上げる段階ではございません。

木曾岬干拓地の太陽光発電について



3番議席 **花井 實** 議員

木曾岬干拓に関する 要望書を提出 町長

質問

三重県では、干拓地にメガソーラーを建設したいと知事が言っている見えますが、木曾岬町としてどのように進めて行かれるのか。

現在、どこまで話が進んでいますか。また、木曾岬町として要望を出されまじなっていますか。

答弁

三重県新エネルギービジョンの中に、木曾岬干拓地の伊勢湾岸自動車道南側の土地80.8ha、このうち愛知県17.2haを含みますが、その地にメガソーラー事業誘致に向けた計画が発表されました。

直ちに当町は、県当局の説明を求め、これを受けまして、本年2月18日に三重県知事に対し「木曾岬干拓に関する要望書」を提出し、回答を3月1日にいただきましたので、概要を申し上げますと、

1つにメガソーラー事業は公開公募で事業者を決定し、企業誘致や土地利用計画について、地元市町と連携をはかりながら実施した

いと考えている。

2つにわんぱく原っぱへは、物流・農業関連・環境関連の業種の立地が期待できるが、環境関連業種の中でもとりわけ新エネルギー関連産業について、立地の可能性について検討していきたい。

3つ目には、メガソーラー誘致予定地以南の土地利用については、都市的土地利用に向けた検討を進めたいと考えている。

4つ目に、県道木曾岬弥富停車場線は、国道23号から木曾岬干拓地へのアクセス道路と考えているので、一部未着手部分は木曾岬町と連携し、用地買収の推進をはかっているので、地元へのご理解、ご協力をいただきたい。

最後に5つ目の干拓地内道路や伊勢湾岸自動車道へのアクセス道路は、都市的土地利用と並行して検討していく。以上、5つの要望に県から回答をいただきました。今後、具体的な話が出てくると存じますので、その段階で協議をさせていただきます。

自主運行バスについて

住民に喜ばれるバス運行に努めたい

町長

質問

先の3月定例会で、一般会計予算の中の自主運行バスに限り附帯決議付で可決されました。

その後、5月7日の全員協議会の場で説明がありましたが、前回を踏まえて今後どのように運行されていかれますか。

答弁

新規路線を開設したのは、アンケート調査を行い、中央線の乗り切れない乗客への対応による利便性の向上と、交通空白地帯の解消で、アンケートで利用者が多く見込める地域への運行であります。

再質問

以前に外周ルートの実行を実施した結果、半年間で廃止となった経緯があり、それと今回の新規路線とは違うとのことですが、何が違うのか。

再答弁

住民の皆さんに対しての公共交通機関のあり方として、平等・公平を少しでも高めていくための考え方が基本となっており、この路線については議論が重ねられてきました。今回の路線につきましては、それぞれの運行を重ねる中で、新たな次なる取組みをしていく必要があると認識しています。



自主運行バス

一般質問



1番議席 **三輪一雅** 議員

木曾岬町の生活保護の状況は？

現在の受給世帯数は11世帯で、
ほぼ横ばいの状況です。—— 町長

質問

生活保護の問題が取り沙汰されていますが、木曾岬町において、近年の生活保護者の推移や状況を伺いたい。

本来、各市町村が福祉事務所を管理して実施していくようですが、小さい町村などでは県が行うということとを事前に確認はしており、木曾岬町もそれに準じて三重県が管理していることですが、実際の運営について説明をお願いしたい。

答弁

受給者数の推移につきましては、平成21年が10世帯14人、平成22年

が11世帯17人、平成23年が12世帯17人、現在は11世帯16人という推移となっております。また、継続して受給されている方は、5世帯8人です。

生活保護は申請に基づき開始されます。相談があった場合、相談者の状況を把握したうえでさまざまな助言を行うとともに、その仕組みについて説明を行い、保護申請の意思を確認します。保護の要否は、認定した最低生活費と認定した収入との対比によって決定されます。保護の種類は大きく分けて生活扶助、住宅扶助、教育扶助、医療扶助などがあり、必要に応じて行われます。

これらは、自立され就労などにより保護を必要としなくなった場合は廃止となります。

受給の基準ですが、基本的には受ける方の年齢と世帯の人員数が基本になります。資産については売却が基本になりますが、その資産が生活維持のために活用したほうが処分するより自立の助長に実効が上がる場

合はその限りではありません。また、指摘のとおり木曾岬町は福祉事務所を設置していませんので、三重県北勢福祉事務所が実施しています。木曾岬町としては、福祉事務所の指示により窓口業務などを行います。また、直接のかかわりは無いものの、相談を受けられる方は、急を要する方が多いので保護決定がスムーズに

できるよう補助をしています。

原発停止にともなう節電要請などは関係機関よりありますか。また、町としての取り組みは？

中部電力より節電のお願いと、国からの節電要請がありました。町としてもさまざまな対策をしていきたい。

町長





8番議席 伊藤 正 議員

町政懇談会のまとめを

内容を取りまとめ検討します

町長



町政懇談会

質問

本年、昨年と町内14会場で多くの職員と費用を費やして町政懇談会が開催されました。町民皆さまの出席の状況やその時の声は、どこにあるのでしょうか。記録をまとめて公表し、次に生かすべきではないでしょうか。

答弁

町政懇談会にご参集いただいた人員は総勢225名でございました。費やした経費は事務局職員の間外手当、資料の印刷代など合わせて53万円ほどとなっております。各会場では、さまざまな意見や地域からの要望をいただき、24年度予算に間に合うもの

弥富市との境界を解決し 税収増を

双方合意の上での協議休止と
なっています

町長

は予算措置を行い、国に関する要望はその関係機関にお伝えし、時間の要する要望や課題につきましても、担当部署で検討させており

ます。

この内容を取りまとめます。この内容については検討して、公表については検討させていただきます。

質問

弥富市との境界が決まらず無籍地となっている境港付近があります。このことは、地方交付税の積算面積にも影響し重要課題でもあります。

分と下水門河口部であります。なお、境界確定に向けた実務者での協議では、結論が見出せず、両県両町双方合意の上で、協議休止となっております。

弥富市は木曾岬町が案を示して、当町で会議を開催する予定であるとボールを投げています。今後町がよりよい方向に進む為にも、弥富市に対し案を示すべきではないでしょうか。

これを存じていません。これまでの経緯を議会に詳細に説明し、対応については慎重に検討させていただきます。

答弁

境界が未確定の土地は、鍋田川中水門から木曾岬干拓地の間で、船舶の避難する船溜まりの部



議会日誌

2012 4月

27日●議会懇談会

2012 5月

2日●木曾岬町地域公共交通会議に伊藤(好)、三輪両委員長出席

7日●議会全員協議会

11日●議会運営委員会

17日●第2回臨時会

18日●社会福祉協議会理事会に伊藤(正)議員出席

●社会福祉協議会評議員会に副議長出席

22日●木曾岬町商工会通常総会に議員多数出席

24日●例月出納検査

25日●桑名・員弁広域連合議会臨時会、桑名広域清掃事業組合議会臨時会に議長出席

27日●市民と議員の条例づくりと交流会議(桑名市)に議員多数出席

28日●木曾岬町青少年育成町民会議総会に議長出席

30日●木曾岬町土地開発公社理事会に議長ほか出席

31日●三重県町村議会議長会理事会(津市)に議長出席

2012 6月

3日●くわな特別支援学校開校式(桑名市)に議長出席
●町内一斉清掃に議員多数出席

4日●桑名地域生活安全協会通常総会(桑名市)に議長出席

5日●議会全員協議会

8日●議会運営委員会

10日●木曾岬町遺族会追悼法要に議長、伊藤(民)議員出席

14日●環境審議会に花井議員出席

15日●第2回定例会(初日)

19日●例月出納検査

20日●第2回定例会(一般質問日)

22日●第2回定例会(最終日)

●議会全員協議会

●自主運行バス源緑・見入線試乗会に議員多数出席

23日●桑名農業協同組合通常総代会(桑名市)に議長出席

26日●木曾岬町ふれあい広場実行委員会に正・副議長出席

27日●国民健康保険運営協議会に伊藤(律)教育民生常任委員長出席

2012 7月

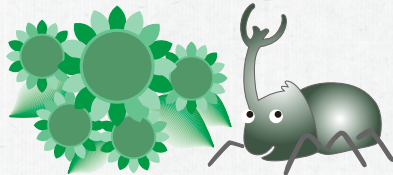
9日●木曾三川公園建設促進下流期成同盟会総会(桑名市)に議長出席

10日●議会広報常任委員会

12日●例月出納検査

●水道事業会計決算審査

18日●議会広報常任委員会



みなさまの
ご意見を
募集しています。

議会に対して、普段、感じていること、疑問に思うこと。また、要望など、何でも結構です。

ご意見、ご質問をお寄せください。

提出先

議会広報常任委員会
(議会事務局)

TEL 68-6108

議会をぜひ、
傍聴にきてください。

議会は、どなたでも自由に傍聴することができます。

次回、9月定例会、本会議の予定です。

- 9月10日(月) 午前9時 開会、議案上程
- 21日(金) 午前9時 一般質問
- 24日(月) 午前9時 議案採決、閉会

なお、日程などは変更する場合がありますので、議会事務局まで、お問合せください。



問合せ先

議会事務局 TEL 68-6108



町内一斉清掃活動に参加

6月3日、恒例となりました「町内一斉清掃活動」に議員も参加し、主要道路などに落ちている空き缶などのごみ拾いを行いました。

町内では、お住まいの地域周辺の美化に向けて積極的に活動されてみえる多くの方々を見かけました。

今後とも、地域の環境美化にご協力をお願いします。



木曾岬干拓地に関する要望活動

6月20日定例会散会后、メガソーラー事業をはじめ道路整備など木曾岬干拓地に関連する諸事業について、町議会として三重県議会議長および三重県地域連携部長、三重県雇用経済部長に対して要望活動をおこないました。当日は、県議会の山本議長お

よび舟橋副議長と面談後、地域連携部の水谷副部長および雇用経済部の和気副課長らと面談し今後、期待される木曾岬干拓地の土地利用について意見交換を行いました。

(故) 鷺野三千男氏に『旭日単光章』

(故) 鷺野三千男氏(源緑輪中)は、昭和52年5月18日に村議会議員に就任され、昭和56年5月17日までの4年間、昭和60年5月18日～平成5年5月17日までの8年間、併せて3期12年間の永きにわたり議員として在職し、このうち2年間副議長の要職に就かれ、議会の円滑な運営と地方自治の発展に、ご尽力されました。

こうした在任中の功績により、平成24年3月30日「旭日単光章」を受章されました。

叙勲の伝達は、6月15日の定例会開会前に、議場において、町長からご遺族に伝達されました。

ここに、氏の功績に感謝申し上げますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。



編集後記

暑い夏がやってきました。

少しでも快適に過ごす工夫がされ、環境に配慮した取り組みが目立っていますが、皆さんは何かされていますか。一人一人の気持ちは節電に繋がりますので、ご協力をお願いします。

今月は夏の一大イベント「やろまい夏まつり」が、会場を役場前駐車場に変更し、より盛大に行われます。日頃の暑さを吹き飛ばして頂くためにも多数の参加を願うものであります。

さて、今回より紙面を一新し、町民の皆さんに読んでもらえる「議会だより」を目指し協議を重ねてきました。まだまだ見直すところはあると思いますが、紙面へのご意見・ご感想をお待ちしております。

また、委員会も委員の入れ替えがありました。新しいメンバーとなりましたが、より以上の「議会だより」にしていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

ここに、第72号の議会だよりをお届けします。

議会広報常任委員会一同